

ブランドスローガン “人が集まる「人」をつくる、大学。”



学長
松重 和美

これからの変動する世の中に対応できる人材育成

新しい年2021年を迎えました。昨年来、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続き、四国大学でも学生・教職員の皆さんの生命、安全を最優先に、種々のコロナ禍対策を行ってきました。遠隔授業やテレワークの導入など、新たな教育・勤務のあり方にもチャレンジしています。今後とも、ICT環境の整備も含め、これからのSociety 5.0の世界に向けて前向きに取り組んでいく予定です。

さて、大学を取り巻く環境も厳しく、少子高齢化、特に18歳人口の急激な減少は、地方私立大学である本学にも大きな影響を及ぼしています。しかし、本学は、これまでの大

学改革、地域貢献・魅力ある大学に向けた取り組みなどにより、在籍学生者数はなんとV(U)字回復し、8年前に比べ500名ほど増加し、現在総計3千名を超えています。大学では、これから重要な卒業式や入学式を迎えますが、今回は、オンライン形式・学科毎の分散方式・YouTube全国配信などを計画しています。

不確実で先の見えない社会、その中でも学生の皆さんが、充実した学び、新たな状況にも主体的に対応できるよう、大学として最大限の支援をしていきたいと考えています。



副理事長
山本 光憲

新たな時代に向けて

哲学者のソクラテスは、「簡単すぎる人生に生きる価値などない」という言葉を遺しています。困難への対応が人間を成長させ、人生を豊かにするというこの意と捉えていますが、本学もコロナ禍での対応で多くの課題に取り組み、改善を重ねてきました。コロナ収束は、まだまだ先のことになりそうですが、収束後もコロナ前には戻れません。社会の構造そのものが大きく変容しているからであり、私たちは社会変化にしっかり対応しつつ、さらなる改善に取り組み、短所を削り、長所を引き出し伸ばしていかなければなりません。困難な時代にあっても、それを転機とする前向きな取組が求められており、挑戦し続けることが必要だと考えています。

令和2年度は、遠隔授業の実施やキャンパスの一時閉鎖などで、学生の皆さんには不安と不便をおかけしました。特に、新入生にとっては想定外の新生活の始まりであり、また、卒業生にとっては困難な就活に直面しながら最後の学生生活を送ることになりました。本学では、遠隔授業のための学習環境の整備をはじめ、緊急学生支援金の給付や学生の困りごとへの相談窓口の開設など、その時々において最善の策を考え実行してきましたが、すべての学生の不安や不満を払拭できたわけではありません。コロナ禍において、教育機関としての新たな価値の創出に取り組むとともに、引き続き、学生のために何ができるか真摯に考え、尽力したい所存です。

令和2年度 父母会だより



会長
山崎 和喜

会長あいさつ

令和2年。今年程、大切な人を思い考えた一年はなかったのではと感じます。日本のみならず世界中がコロナウイルスによって経済活動や人々の生活に閉塞を強いられました。コロナウイルスによってお亡くなりになられた方々のご冥福と、今も病と闘っている方々の回復をお祈り致します。

四国大学に於いては、緊急事態宣言後、いち早く遠隔授業に取り組んでいただき、その後も先手を打った対応で現在のところ、感染者を出すことなく過ごして参りました。そんな中、卒業を控えた学生にとって本当に厳し

い一年だったと思います。父母会に於いても総会を始め、地区別父母会が中止になり、皆様には御理解頂くこととなりました。

通信技術が発達した現代、コロナ禍に於いて、その力を拡充することとなりましたが、改めて人と人の繋がりの大切さを感じた、そんな一年でした。メールより声を聞くこと、電話より会って話しをすること。学生の皆様には、新しい技術を大いに活用することは勿論ですが、人との会話や触れ合うことを大切に過ごしてほしいと思います。

父母会役員会開催

- ・開催日時 令和2年6月1日(月)15時から
- ・開催場所 四国大学本館4階 大会議室
- ・協議 (1)令和元年度事業報告及び令和元年度決算報告について
(2)役員改選(案)について〈退任役員に感謝状贈呈〉
(3)令和2年度事業計画及び令和2年度予算案について
(4)会則の一部改正について
(5)その他

以上協議事項については、承認された。



四国大学父母会Web・電話利用個別相談会実施

- ・実施日 令和2年9月5日(土)・6日(日)・12日(土)

父母会臨時役員会開催

- ・開催日時 令和2年7月20日(月)13時30分から
- ・開催場所 四国大学本館3階 特別会議室
- ・協議 (1)新型コロナウイルス感染防止対策による父母会費使途の現状と今後の見込みについて
(2)令和2年度地区別父母懇談会について
(3)第2回評議員会について
(4)その他

以上協議事項については、承認された。



令和3年度 地区別父母懇談会日程(予定)

沖縄県地区父母懇談会	R3. 6. 27 (日)
香川県地区父母懇談会	R3. 8. 28 (土)
中国地区父母懇談会	R3. 8. 29 (日)
高知県地区父母懇談会	R3. 9. 4 (土)
愛媛県地区父母懇談会	R3. 9. 5 (日)

第60回 芳 藍 祭



藍 LOVE 四大! ~ 芳藍祭しか勝たん!! ~

秋の深まりとともに、キャンパスの伝統行事である、第60回四国大学芳藍祭が11月13日（金）の前夜祭・企画イベント（学祭 de おどってみた・カラオケ大会）本選にはじまり、14日（土）、15日（日）の屋内発表・演技発表、16日（月）の表彰式、閉会式の日程で開催されました。

今年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、学生・学内関係者のみの縮小開催となりましたが、各団体がこの3日間のために数ヶ月前から準備や練習に取り組んできた成果を発揮し、熱の入った演技や展示で大学祭を盛り上げることができました。

今回の芳藍祭での各表彰・奨励賞の一覧は次項にて紹介させていただきます。

最後に、芳藍祭の開催、運営にご協力いただきました企業、団体の皆様および地域の皆様ならびに保護者の方々に深く感謝いたします。ありがとうございました。



委員長あいさつ

第60回 芳藍祭運営委員長

田中 健太

皆さん第60回芳藍祭は楽しんでいただけましたか？今年の前夜祭を含めた3日間晴天の中、芳藍祭を開催することができました。

新型コロナウイルス感染症の影響で開催できるの心配でしたが、各学科・サークル・同好会、先生方の支援やご指導のお蔭で無事に終了することができました。皆

様本当にありがとうございました。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響を考え、アーティストの方をお呼びしたコンサートや学生主体で行う模擬店を残念ながら行うことはできませんでしたが、野外ステージでの演技発表、学祭 de おどってみた、カラオケ大会や教室やロビーを使った屋内発表でも大変盛り上がり、例年と遜色ないくらい皆様の楽しい思い出になったかと思います。

最後になりましたが、芳藍祭を開催するにあたりご指導いただきました諸先生方をはじめ、各学科・クラブ・同好会の関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。来年は今年よりもっと盛り上がるような企画で芳藍祭を開催したいと思っています。皆様、来年も引き続きご協力のほどよろしく願いいたします。



… 第60回芳藍祭表彰一覧 …

第60回芳藍祭

テーマ・サブテーマ考案

短期大学部 ビジネス・コミュニケーション科

1年 久保 叶望

第60回芳藍祭

表紙・ポスターデザイン考案

文学部 書道文化学科

1年 天王 蘭



… 第60回芳藍祭奨励賞一覧 …

部門	賞	団体名	内容
屋内発表	最優秀賞	管理栄養士養成課程3年	食の安全についてのパネル展示
	優秀賞	生活科学科3年	藍染めの展示等
	努力賞	生活科学科(心理)3年	心理テスト
	感動賞	生活科学科(養護)3年	感染症の揭示・手洗いチェッカー等
	創作賞	国際交流サークルDISAC	VR体験(お化け屋敷)
演技発表	最優秀賞	ジャグリング部	ジャグリング
	優秀賞	書道部	書道パフォーマンス
	努力賞	吹奏楽部	演奏
	感動賞	エアロビック・チアダンス部	エアロビック・チアダンス
	創作賞	音楽科	演奏
総合	同窓会長賞	阿波踊り(阿波踊り部・沖縄県人会)	阿波踊り エイサー

企画

学祭 de おどってみた 11月13日(金) 前夜祭 14日(土) エキシビジョン

賞	団体名	代表者
優勝	べろべろびー	原 瑞季(児童学科4年)
準優勝	T K G	末延源二郎(児童学科4年)

カラオケ大会 11月13日(金) 前夜祭 14日(土) エキシビジョン

賞	曲名	代表者
優勝	そっけない	橘 侃太(児童学科4年)
準優勝	ハナミズキ	夢野 真(児童学科4年)

屋内発表 最優秀賞 管理栄養士養成課程3年

管栄3年 炭谷 夏花

今回は、「食品表示」についての展示を行いました。例年とは異なる大学祭でしたが、学生同士協力し合って展示の資料を作成しました。時間が限られている中での資料作成でしたが、当日は様々な方に展示を見ていただき、最優秀賞を受賞でき大変光栄に思います。

今回の展示を通して学んだ食品表示の内容を今後の生活にも活かしながら日々努力していきたいです。



総合部門 同窓会長賞 阿波踊り

阿波踊り部

生活3年 田和 穂香

こんにちは！阿波踊り部です。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため夏の阿波踊りや年間を通して行われていた依頼や行事に参加することができませんでした。加えて練習も普段通りにはいかず例年とは大きく変わった一年でした。しかし活動が少ないことで出せなかった想いを芳藍祭では全力でぶつけることができ、その結果阿波踊りとして同窓会長賞をいただくことができました。応援していただいた方々本当にありがとうございました！



沖縄県人会

児童3年 仲地 星河

この度、第60回芳藍祭におきまして同窓会長賞という素晴らしい賞をいただくことができ、大変嬉しく思います。今年度は思うように練習が出来ず苦労することも多々ありましたが、私達にとって大きな舞台である芳藍祭。天候にも恵まれ、最後まで楽しく全力で踊りきることが出来ました。関係者の皆様ありがとうございました。



演技発表 最優秀賞 ジャグリング部

児童3年 片岡 裕梨

演技部門の最優秀賞に選んでいただき、ありがとうございます。このような状況の中で、本番直前まで変更に変更を重ね、思い通りにいかない日々が続きましたが、先輩、後輩、そして同期のおかげで最高のものにできました。私たちにとって最大の舞台の学祭で演技ができ、最高の仲間たちと最高の演技をし、46名で最優秀賞を取ったことは、一生の思い出です。

応援してくださった方々、本当にありがとうございました！



学祭 de おどってみた

優勝 ペロペロぴー 児童4年 原 瑞季

こんにちは！児童学科4年ペロペロぴーです！今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、芳藍祭が開催されるかどうかわからないまま「開催されたらラッキーだから！」とメンバーで励まし合い、夏休み頃から練習を続けていました。

採用試験、就活、卒論、実習を乗り越えながらの練習はメンバー同士の予定が合わず大変でしたが「最後の学祭、後悔はしたくない！」という全員の気持ちが1つになり頑張れました。

ステージに立つと沢山の友達や後輩、先生方の顔が見え、とても緊張しましたが「私たち、今夜だけはアイドルやけんな！」という児童学科で培ったなりきりの気持ちで、楽しむことができました。本当にありがとうございました！



カラオケ大会

優勝 細川ファミリーズ 児童4年 橘 侃太

私は、カラオケ大会にずっと参加したいと思っていましたが、なかなか一人で出るという勇気が持てず、後輩を誘うと「良いですよ！」と快く引き受けてくれて、とても嬉しかったことを覚えています。

二人で練習する時間がなかなか取れず、後輩には迷惑を掛けてしまいましたが、三回だけカラオケで練習して本番に挑み、見事優勝することができました。歌っている時は緊張しましたが、歌い終わった後「良かったよ」「票入れたけんな」など言ってくれる子がたくさんいて、本当に嬉しかったです。

最後に、学祭を開催して下さった大学、見に来てくれた学生、運営委員の方々、本当にありがとうございました。



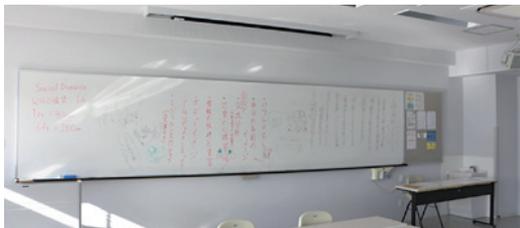
屋内発表 優秀賞 生活科学科3年



演技発表 優秀賞 書道部



屋内発表 努力賞 生活科学科(心理)3年



演技発表 努力賞 吹奏楽部



屋内発表 感動賞 生活科学科(養護)3年



演技発表 感動賞 エアロビク・チアダンス部



屋内発表 創作賞 国際交流サークルDISAC



演技発表 創作賞 音楽科



スポーツ分野 各クラブの活躍

● 陸上競技部 ●

第104回日本陸上競技選手権大会

幸長慎一選手(人間生活科学研究科1年)男子砲丸投 優勝「真の日本一」獲得

令和2年9月11日(金)~13日(日)に新潟県のデンカビックスワンススタジアムで学生最高峰の競技会である、「天皇賜盃 第89回 日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)」が開催されました。今年は、新型コロナウイルスの影響に伴い無観客での開催、フィールド競技については標準記録を突破した上位20名のみ出場制限及び、試技数削減による時間短縮で実施されました。本学からは、標準記録を突破した4名の選手が出場し、優勝1つ入賞2つという結果でした。男子円盤投において、幸長慎一選手(人間生活科学研究科1年)が2位と4m以上の差をつけて優勝、二連覇を達成しました。また男子砲丸投において、幸長選手は2位に入賞、女子円盤投では高木智帆選手(経情3年)が5位に入賞し、全日本インカレ初入賞を果たしました。



その他にも、10月1日(木)~3日(土)に新潟県のデンカビックスワンススタジアムで日本最高峰の競技会である「第104回日本陸上競技選手権大会」が開催され、1日目の男子砲丸投に出場した幸長選手が17m77を投げて優勝しました。また、3日目の男子円盤投においても55m89を投げて第3位に入賞し、昨年に続き2年連続入賞を達成しました。今大会は、2種目表彰台という快挙を成し遂げ、砲丸投においては「真の日本一」を獲得しました。

さらに、10月2日(金)~4日(日)香川県のPikaraスタジアムで「第43回中国四国学生陸上競技選手権大会」が開催され、1日目の女子円盤投では高木選手が43m60で優勝し、男子円盤投では三田穂貴選手(日文2年)が48m40で優勝を果たしました。2日目には男子ハンマー投が行われ、藤田駿介選手(経情3年)が50m95で自身初の中四国大会優勝を果たし、最終日の3日目には三田選手が男子砲丸投に出場し、14m86で優勝。今大会2冠を達成するなど、数多くの成績を収めており、来年度も更なる活躍が期待されます。

● 女子バレーボール部 ●

第56回四国大学バレーボール秋季リーグ戦

I部 3位入賞

令和2年度「第56回四国大学バレーボール秋季リーグ戦」が香川県で開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で、他県に比べて練習時間が極端に少なかった中、I部3位(2位と勝敗は同じ。セット率にて3位)という成績をおさめることができました。



● ソフトテニス部 ●

中国・四国・九州三地区学生選手権大会

団体・個人優勝!

令和2年度11月21日(土)~23日(月)に愛媛県今治市営スポーツパークにて、「中国・四国・九州三地区学生選手権大会」が開催されました。新型コロナウイルスの影響で、今年度初めての学連主催大会となりました。結果は、団体戦で四国大学Aチーム【佐古選手(国際1年)、藤城選手(管栄1年)、下地選手(児童3年)、矢野選手(児童3年)】が優勝し四連覇を達成しま



した。さらに、個人戦でも、箱崎選手(児童1年)・坂田選手(生活3年)ペアが優勝、佐古選手・藤城選手ペアも3位入賞を果たしました。

来年度は西日本・全国規模での更なる活躍が期待されます。

● 女子ラグビー部 ●

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で非常に残念なことに「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ」が中止となってしまいました。しかし、本学のラグビー部は、更なる力をつけるための準備期間ができた前向きに捉え、チーム一丸となり練習に励んでおります。



今後のテーマを「ALL UP!(すべて上げる)」「ALL OUT!(すべてを出し切る)」と定め、ラグビーの技術も、人としても、自分達のすべてを今以上に成長させ、本番ですべてを出し切ることができるよう工夫して練習に取り組んでおり、今後ますますの活躍が期待されます。

● 女子サッカー部 ●

第29回全日本大学女子サッカー選手権大会四国大会

四国大学 優勝

令和2年度10月3日(土)に徳島スポーツビレッジで行われた「第29回全日本大学女子サッカー選手権大会四国大会」の決勝にて、四国大学が、徳島文理大学に1-0(1-0 0-0)で勝利しました。この結果、四国地域の第一代表としてインカレ全国大会に出場することとなりました。



6年連続6回目となるこの大会で、目標であるベスト8を目指し、今後益々の活躍が期待されます。

● 弓道部 ●

第68回全日本学生弓道選手権大会

女子団体 全国第3位

令和2年度10月21日(水)~31日(土)の期間中に「第66回中四国学生弓道選手権大会代替試合」がリモート形式で開催され、団体戦において本学弓道部女子【倉元結花子選手(人間生活2年)、中山綾香選手(経情2年)、中山亜莉沙選手(人間生活2年)、河井梨乃選手(経情2年)、倉持智美選手(管栄2年)】が優勝し、12月に開催される地区推薦大学弓道大会への出場権を獲得しました。また、個人戦でも男子個人戦第一学年の部で齋藤琉乃介選手(看護1年)が優勝、女子個人戦第一学年の部で武市裕子選手(人間生活1年)が準優勝、第二学年の部で中山綾香選手が優勝、中山亜莉沙選手が準優勝、倉元結花子選手が第4位に入賞しました。



上記の成績により出場権を獲得した「地区推薦大学弓道大会」が12月13日(日)にリモート形式で行われ、本学弓道部女子団体が中四国の大学の代表として出場し、全国ベスト4の成績をおさめました。

また、12月20日(日)に「第68回全日本学生弓道選手権大会」がリモート形式で行われ、本学弓道部女子団体【倉元結花子選手、中山綾香選手、中山亜莉沙選手、河井梨乃選手、倉持智美選手】が出場し、全国第3位の成績をおさめました。本大会での入賞は第61回大会以来7年ぶりの快挙を果たし、今後もさらなる活躍が期待できます。

文化系クラブ・芸術分野での活躍

書道パフォーマンス開催

令和2年12月17日(木)、徳島県議会議事堂ホールにおいて、文学部書道文化学科の学生による書道パフォーマンスが開催されました。

今回の書道パフォーマンスは、本学と徳島県議会との包括的連携協定に基づく事業の一環として「県民に開かれた議会活動」、「県民による芸術・文化の振興」をテーマに開催されました。

学生達は自分たちで選んだ今年の漢字「新」「共」の二文字と「がんばるんじょ徳島」「愛」をテーマに、音楽に合わせて全身を使った力強い運筆で作品を完成させました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、観覧人数に制限があったものの、迫力あるパフォーマンスに観客からは盛大な拍手が送られました。



デザインコース学生作品展

令和2年12月27日(日)から令和3年1月11日(月)の期間、徳島駅前アミコ東館1階(旧そごう徳島店)に於いて、四国大学 生活科学部 人間生活科学科 デザインコースの学生作品展を開催しました。この展示会は、「四国大学♡徳島駅前にぎわいキャンパス2021」の中で徳島駅前を活性化しようとする試みとしての展示でした。

作品は、全国公募(二科展入選作品)や徳島県美術展・放美展受賞作品、また、学生が個性的に描いた「似顔絵」も展示され、年齢を問わず来場者からも好評を得ることができました。



英語スピーチコンテスト

英語スピーチコンテスト「吉野川杯」を、令和2年12月8日(火)、本学国際文化館にて開催しました。今年、コンテスト関係者のみ会場にて、その他の聴衆は、Zoom同時生配信による参加となりました。



全学より13名が、90名ほどの聴衆に向けて、日頃より鍛えた英語力で自身の主張を披露し合いました。選考の結果、上位入賞者と特別賞に次の4名を決定しました。

- 第1位 Ms. Aliza Khan,
‘What Confidence Can Do!’ (メディア2年)
- 第2位 Ms. Remi Kawano,
‘Haircolor and Tattoo’ (国際3年)
- 第3位 Ms. Mayuka Noguchi,
‘Challenge Yourself’ (国際3年)
- 特別賞 Ms. Shiho Fujiwara,
‘The Best Time of My Life’ (児童1年)



eスポーツステージとくしま・オンラインWEEK 開催

令和2年5月14日(木)、県内の障がい者施設をネットワークで結び、eスポーツを体験するネットワーク型のイベント「ダイバシティチャレンジ徳島 against 新型コロナ2020」が開催されました。本学はネットワークでのやり取りをYouTube経由で配信する2次配信を企画・運営しました。

また、令和2年8月12日(水)～16日(日)の5日間、徳島県の主催による「eスポーツステージとくしま・オンラインWEEK」が、全学共通・地域教育センター1階B109教室をサテライト会場として開催されました。12日の開会の挨拶は飯泉嘉門徳島県知事に行ってくださいました。大会には本学の学生も参加しており、12日の「ぶよぶよeスポーツオンライン知事杯」では、元木 功生(メディア2年)が初代優勝者となり、15日の「グランツーリスモSPORT オンライン知事杯」では、富樫 涼(人間生活1年)が初代優勝者となりました。



しらさぎセミナーハウス

宿泊可能な研修施設「しらさぎセミナーハウス」が、令和2年10月30日（金）に完成しました。本施設は、しらさぎ球技場に隣接しており、競技環境の向上だけでなく、学生の正課や課外活動を促進し、教育効果をより高めることを目的としています。

また、しらさぎ球技場は、四国大学イーグレッツの活動拠点であるとともに、スポーツを通じた本学と地域の皆様との交流の場としても開放しており、セミナーハウスと共に新たに整備したサブグラウンドについても、地域におけるスポーツ活動や健康活動にご活用いただきたいと考えています。

竣工にあたり、ご支援・ご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

●しらさぎセミナーハウス 施設概要

階数	地上1階
構造	鉄骨造 平屋建
延床面積	345.12㎡
施設概要	研修室、宿泊室（5部屋）、シャワー室（6部屋）、洗濯室、洗面所、指導者室（3部屋）、トイレ、キッチン、交流広場（屋外）
主な設備	Wi-Fi・冷暖房完備、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機、大型テレビ、炊飯器、電子レンジ、IHコンロ



しらさぎセミナーハウス 外観



宿泊室



研修室



サブグラウンド(約2,700㎡)

第18回四国大学青春川柳コンクール

令和2年11月14日から20日まで、第18回四国大学青春川柳コンクールの展覧会を開催しました。応募条件を「青春まつただ中の方だけでなく、かつての青春をさまざまな思いで振り返ることも含めて」と幅広く募った結果、全国から6,404句が寄せられ、それらの中から特別賞10句、入選40句、佳作80句が選ばれました。表彰式は新型コロナウイルス感染症の影響により今回は中止となりましたが、書道文化館ギャラリーにて、特別賞と入選の秀句を披露することができました。



【特別賞】（10句）

2020・四国大学青春川柳大賞

ぞめき無き蛸響く阿波の夏

岩野李実花（徳島県那賀高校）

四国大学学長賞

無我夢中五里霧中とが同居する

私はだーれ（東京都江東区）

四国大学理事長賞

故郷からお取り寄せする母の味

光風 雫（福井県福井市）

四国大学副学長賞

先生の怒らんけんは信じない

丸山 暁（徳島県城西高校）

四国大学文学部長賞

漱石の髭をなぞって五時間目

菅 伸明（愛媛県新居浜市）

眠くなりノートの文字が古代文字

八幡 光（徳島科学技術高校）

四国大学学生支援担当部長賞

マスクよりホントは欲しい支援金

茨木 拓行（徳島県富岡東高校）

休校で募るばかりの片思い

ニャンツ（東京都江東区）

四国大学図書館長賞

十二支に入れぬ猫を抱き寄せる

山下 舞桜（愛媛県新居浜東高校）

未練などないがしょっちゅう夢に出る

角森 玲子（島根県安来市）

キャリアセンターだより

今年度の就職活動は、終始新型コロナウイルス対策を念頭に置いた対応が求められています。令和2年3月1日にインテックス大阪で予定された合同企業説明会も中止となり、参加を予定していた本学の就活トライツアーも実施できなくなりました。3月1日以後、対面で行われる各就職情報サービス関連企業主催の説明会は軒並み中止となりました。

当初の内定状況を見ると、3月1日以前にインターンシップ等でその企業との面識があった学生の内定出しが早かったとの観測もあります。日頃より学生に呼び掛けている、早め早めの企業へのアプローチが功を奏するという例が顕著に現れた年でもありました。

また各企業の業績につきましても、今年度当初からのコロナ禍による外出規制などの影響により、世界的な経済活動の大きな落ち込みが生じました。その結果、採用状況にも影響を及ぼし、文部科学省と厚生労働省が調査した2021年春卒業予定の大学生の10月1日時点での就職内定率は、前年同期比7ポイント低下の69.8%と、リーマン・ショック後の2009年の7.4ポイント低下に次ぐ下げ幅となっており、今まで以上に優秀な人材を効率よく確保する企業の姿勢が顕著になっています。

その後、業界・企業によって傾向に違いはありますが、採用を継続する企業も多く、また、学生の粘り強い就職活動により、内定率は例年並みの数字に追いつきつつあります。国も12月には経済産業省が採用継続企業を公表するなど、雇用維持に向けての産官学が引き続きさまざまな支援を行っており、あきらめずに活動を続けることの大切さを実感する年でもありました。

今年の大学生の就職活動については、「オンライン化」と「二極化」に特徴があります。

「オンライン化」とは、新型コロナウイルス感染対策により、従来の対面形式による面接試験等が難しくなった結果、インターネットを利用したオンラインによる採用面接が多く利用されたことです。インターンシップにおいても、この方式による実施が多く取り入れられるきっかけとなりました。キャリアセンターでは、この度Web面接にも対応できる施設・設備も新たに整えましたので、積極的に利用してください。

また、12月にはこのような動きに対応し、「Web面接セミナー」を開催して学生に参加を呼びかけました。講義の内容としては、通信環境やカメラに対する目線・表情・姿勢など、従来の面接指導にはない知識や技術を習得できるよう工夫しました。

「二極化」とは、内定を得られる学生とそうでない学生の二極化が問題となっていることです。新型コロナウイルス感染症の拡大以前からの傾向ではありますが、キャリアの意識が高く早くから就職活動をしていた学生は、複数社から内定を得る傾向が強いという事実があります。現在の大学3年生、短大1年生が対象となる2022年卒業生に対する企業の採用活動は、今年のコロナ禍の状況を踏まえて2021年卒業生並みか、それよりも少し早くなるという観測もあるようです。その結果、早めに採用予定数を達成して活動を終了することも予測され、就職活動への取り組みの早い学生とそうでない学生の二極化はさらに進むともいわれています。

このような状況を踏まえ、希望企業への内定を得るためにしていただきたいことがあります。それは、就職キャリア支援課が行うガイダンスやセミナーにすべて参加することです。就活生として、どのように準備し、どのように行動するのか、具体的な動き方を説明するのが、就職キャリア支援課が行うガイダンスやセミナーです。また、就職に関する相談や悩みは個別にキャリアセンター

職員、キャリア相談員（公認心理師・臨床心理士・キャリアコンサルタント）がお答えすることになっています。

次の別表には、令和2年度に実施した主な就職支援関係行事を示しています。また、その中から3つピックアップしてその内容を簡単に紹介します。

(別表) 就職支援関係行事

月	行 事
4月	学科別オリエンテーション
5月	第1回就職ガイダンス
6月	インターンシップセミナー① 公務員対策ガイダンス
7月	自己分析講座 インターンシップセミナー②(マナー講座)
8月	SP対策講座①、②
9月	業界・職種・企業研究セミナー 教員対策ガイダンス
10月	第2回就職ガイダンス 就職ガイダンス・就業力育成セミナー エントリーシートガイダンス
11月	専門職ガイダンス 学内企業研究会事前セミナー 四国大学ジョブカフェ 学内企業研究会
12月	就活応援セミナー(Web面接対策講座) 自己PR作成講座
1月	第3回就職ガイダンス(就活直前) 面接対策講座
2月	グループディスカッション・集団面接対策講座 就活トライツアー直前セミナー
3月	就活トライツアー

◇就職ガイダンス

就職準備を円滑に進めるために、年3回開催しています。5月27日には就職活動の概要、10月14日には業界・企業研究の再点検、1月13日には本番直前ファイナルチェックなど、各時期に応じて学生が準備すべきことを説明しました。



◇学内企業研究会 (実施日：12月2日)

学生の業界・職種・企業研究をより一層深めるために、毎年実施しています。今年度の実施については、コロナ禍により開催も危ぶまれましたが、感染対策を徹底して実施しました。本年度も各企業の仕事内容説明の後、質疑応答が行われ、充実した研究会となりました。なお、参加事業所は90事業所、参加学生数は317名でした。



◇自己PR作成講座 (実施日：12月22日)

自己PR作成は就職活動の入り口といっても過言ではありません。自分のこれまでの人生経験を洗い出しながら、改めて自分の魅力を引き出す作業となります。パソコンソフトを利用しながら、効率のよい作成方法を習得してもらいました。



私たちキャリアセンター職員は、皆さん全員が希望の進路に進めるよう日々支援を惜しみません。もし、進路選択で分からないことがあったり、就職活動に行き詰まったり悩んだりしたときは、是非A館2階のキャリアセンターに足を運んでください。

「きみのやる気を応援します！」

令和2年度 四国大学学生プロジェクト支援事業 (学生GP)

令和2年度学生プロジェクト支援事業に、学生が主体となって取り組む教育研究、社会、地域貢献に関するプロジェクトに13件の応募がありました。書類審査、ヒアリングの結果、13件すべてのプロジェクトが採択され、7月に認証式を行いました。前期にて終了した短期プロジェクト「遊んで学ぼう、鮎喰川。2020」は芳藍祭期間中にパネル展示による活動報告をし、その他12件も中間報告を行いました。

各プロジェクトともにコロナ対策に気を配りながら当初の計画どおり進捗しており、特に地域活性に貢献しているプロジェクトは、ボランティアやイベント等に参加するだけでなく、企画から運営など積極的な活動に取り組んでおります。今後も年度末まで長期プロジェクト12件は活動を続け、令和3年4月20日に本学共通講義棟にてプレゼンテーションによる活動報告会を予定しています。

令和2年度 「きみのやる気を応援します！」学生プロジェクト支援事業 採択プロジェクト一覧

新規 継続	期間	区分	プロジェクト名	代表者			グループ 人数	指導教員
				所属	学年	氏名		
新規	長期	教育研究	ぼくらの図書館 (テニトル実行本部)	文学部日本文学科	3	杉本 亜希	5	杉山 悦子
新規	長期	教育研究/地域貢献	のこそう!地域の文化財 ~扁額・屏風の魅力発信~	文学部日本文学科	4	堀 はつみ	13	須藤 茂樹
新規	長期	教育研究	書道で繋がる地域の輪	文学部書道文化学科	2	逢坂優妃奈	12	太田 剛
新規	長期	地域貢献	ネクスト・インフルエンサー ~eスポーツをコンテンツとした配信と地域活性化・賑わいの創出~	文学部国際文化学科	1	松岡 浩人	25	長瀬 大
継続	長期	教育研究/地域貢献	EXCITING NISHI-AWA!! ~にし阿波で国際交流ワークショップ~	文学部国際文化学科	3	奈良 菜	37	長井 志保
新規	長期	地域貢献	Working out with dogs ~動物たちと運動不足解消~	文学部国際文化学科	3	奈良 菜	14	フェリー・マーク
新規	長期	地域貢献	徳島の魅力発見隊	経営情報学部経営情報学科	2	藤井 陽菜	19	萩原 八郎
新規	長期	教育研究	甘姫品質判別 AI システム構築プロジェクト	経営情報学部メディア情報学科	3	高橋 歩睦	7	細川 康輝
継続	短期	その他	遊んで学ぼう、鮎喰川。2020	生活科学部児童学科	4	船越 春花	17	田村 典子
継続	長期	地域貢献	遊びの場をひろげよう! Vol.2	生活科学部児童学科	4	石井 唯	16	兼間 和美
新規	長期	吉野川	吉野川の自然環境保護、生生物の観察・保護活動を中心とした地域貢献 -四国大学ゴールデンZクラブ-	生活科学部児童学科	3	後藤田航成	116	山本 哲生
継続	長期	教育研究	看護学部発!!次世代ナイチンゲールプロジェクト ~入浴を科学する~	看護学部看護学科	4	住田奈々美	15	山口 豪
新規	長期	教育研究	動画で伝えよう音楽科の魅力 ~無観客ライブを世界に配信~	短期大学部音楽科	2	村山菜々子	49	増田 篤志



学生 GP 認証式 (7月)



のこそう!地域の文化財



書道で繋がる地域の輪



遊んで学ぼう、鮎喰川。2020

◆ 四国大学後援会評議員会開催 ◆

10月27日(金) 令和2年度後援会評議員会が、会長をはじめ評議員9名、大学側から佐藤理事長他関係者10名の出席のもと、本館3階特別会議室にて開催されました。議事では、①令和元年度決算報告②令和2年度予算案③役員改選④総会開催についてが審議されました。役員改選では、前任者の任期満了ならびに退職に伴い、新たに教育・学生支援部長に就任された曾川美佐子生活科学部教授と中田寛志学生支援課長が幹事として就任されました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため毎年11月の芳藍祭期間中に開催している総会については開催を見送ることとなり、他の審議事項とともに原案どおり承認されました。役員からは後援会に寄せる活発なご意見を頂き盛会裡に終了しました。



SHIKOKU UNIVERSITY | OPEN CAMPUS 2021

君の未来! 見つけよう

OPEN CAMPUS 2021

文学部 日本文学科 経営情報学科 国際文化学科	経営情報学部 経営情報学科 メディア情報学科	生活科学部 人間生活学科 児童学科 児童福祉学科
看護学部 看護学科	短期大学部 幼児教育学科 人間生活学科 児童福祉学科 児童教育学科	

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
4.24	6.13	7.11	8.1	8.21	9.12
Sat	Sun	Sun	Sun	Sun	Sun

開催時間/10:00-18:00

四国大学 広報課

0120-65-9906

通話代行 11

四国大学オリジナルグッズをプレゼント!

ランチ休憩 11:50-13:00

※希望者のみの参加の希望まで、ホームページまたはお電話にて、お申し込みください。